

## 令和2年度 SSH スキルアップ研修Ⅱ「栗駒・気仙沼巡検」実施報告書

- 1 日時 令和2年10月22日（木）～23日（金）
- 2 訪問先 令和2年10月22日（木）  
栗原市ジオパークビジターセンター・荒砥沢ダムと冠頭部  
岩手県一関市旧祭時大橋  
令和2年10月23日（金）  
リアス・アーク美術館・気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館  
南三陸町震災遺構高野会館跡および戸倉地区
- 3 参加者 2学年災害科学科全員（39名）
- 4 対応者 東北大学学術資源研究公開センター 教授 高嶋 礼詩 氏  
栗駒山麓ジオパーク推進協議会 専門員 田中 誠也 氏  
気仙沼市立面瀬小学校 教諭 阿部 正人 氏（本校災害科卒業生保護者）  
リアス・アーク美術館 副館長 山内 宏泰 氏（学芸員）  
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 語り部 芳賀 一郎 氏  
（元宮城県気仙沼向洋高等学校 教諭）  
南三陸ホテル観洋 第一営業次長 伊藤 俊 氏（南三陸町語り部）
- 5 実施内容・評価

例年は栗駒山麓ジオパーク・湯沢ジオパークを巡り、岩手・宮城内陸地震の被災地を中心に学んできたが、今年度は栗駒山麓ジオパークに加えて南三陸・気仙沼地区を巡り、山の災害・海の災害両面からの考察を重ねてきた。今回は事前学習で見学地に対する「質問作り」を行い、事前にグループが知りたい3つの質問を共有し、その解決を図ることを目的として現地に向かった。

初日は栗原市ジオパークビジターセンターを訪問し、グループに分かれてジオガイドの説明・解説を受けた後、実際に荒砥沢ダムに足を運んだ。現地でもジオガイドさんの案内のもとで岩手・宮城内陸地震の崩落崖を見学し、その災害の規模を目の当たりにした。午後からは岩手県一関市・祭時災害遺構に移動し、事前学習で考察した落橋現場を実際に目にし、講師の東北大学学術資源公開研究センター教授・高嶋礼詩先生からの現地解説を受けて、地すべり災害の詳細を学び、宿に着いてから東北日本の地質構造についての講義をいただいた。

二日目は講師の阿部正人先生と合流し、手持ちのiPadに資料を共有しながら南三陸町伊里前等で解説いただき、気仙沼市リアス・アーク美術館へ移動。見学ののち、副館長（学芸員）の山内宏泰先生とのディスカッションを行った。午後は気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の見学・語り部の芳賀一郎先生による講話、南三陸町旧高野会館の見学など、これまでの学びの総決算として、災害を改めて見つめ直す機会となった。

### <生徒の感想>

鈴木日陽（七ヶ浜町立向洋中学校）

今回の巡検は全体を通して私にとってとても有意義な時間になったと思います。学校関連の災害時の対応のお話などは私の進路に直結するし、地形的なところから起こった災害のお話も地

学の範囲かもしれませんが、地理が好きな私には非常に興味深い内容でした。東北大学の高嶋教授のお話は私たちの住んでいる地域などに関連づけをしてお話をしてくださったのと動画や図面で工夫して理解しやすくしていただいていたことで非常にわかりやすい講義でした。松島の褶曲のお話があったと思いますがもしかして松島に坂が多いと感じるのは褶曲が原因なのかな？と疑問に思いました。また、ホテル観洋の伊藤先生のお話もとても心に残りました。ありきたりなことを言っているかもしれないと不安を口にしていらっしゃいましたが、現地で被災された方の「生の声」を聞かせていただいたようで本当に内容の濃いお話だったと思いました。一つ一つの講義が本当に勉強になり、どれも聞いていて興味をそそられるものばかりでとても楽しい2日間だったと思います。お忙しい中時間を割いていただいていたことに本当にありがたいと思っただけで感染症対策をしながら大変な中、企画してくださった先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

長谷川海月（塩竈市立第二中学校）

今までいくつかの巡検に参加してきましたが、今回の1番濃かった2日間だったのではないかなと思いました。リアスアース美術館の事前学習で文化的要因とは何かという問いが出て、私はこの問いに関してその町の文化によって起きた災害かなと思いつつよく分からないなあと思っていたのですが、実際に話を聞いてその地域の特徴に合わせて暮らしていかなければ災害が起きた時に大きな被害になってしまうという応えが聞けて、ああなるほどそういうことかと納得することが出来ました。

他の講師の方々のお話も、どれも印象的で、ここではこんなことがあってこんな人のこんな思いがあったんだなあとか、こんなにも大きな被害が起きているのにもかかわらず誰かの一言でたくさんの人の命が助かっているんだなあと考えたり思ったことは沢山あって、とても濃い2日間でした、2日間、ありがとうございました。

金谷紅（仙台市立広瀬中学校）

今回の栗駒・気仙沼巡検では普通ではなかなか体験することができない多くのことを同時に体験した。正直言って内容が濃すぎてパンクしそうにもなったがすごくいい経験になったと思う。

1日目は今まであまり気にかけてことのなかった地滑りという現象を観点に、僅かな傾きでも地滑りは起こる、という怖い事実と災害を子供たちに伝えたいというジオパークの思いと努力を学んだ。

2日目の朝、リアス・アーク美術館では今まで考えたことのなかったような新しい観点で災害、防災について考えることができた。今までの防災教育のメリットデメリットを踏まえてこれからの防災教育はどうしていけばいいのかを考えさせられた。

私は今まで災害によって被害が出るのは仕方のないことだと考えていたが、災害は過去の出来事から学び、防げることなのだ気付かされた。そのためには、災害が起こる前までに多くの過去の出来事を知る必要があるし、実際に災害が起こった際に動けるようなコミュニティを作っておく必要がある。それらを伝えるための活動をしている、今回を教えてくれた先生方は本当に凄いなと思った。今すぐには無理かもしれないが、将来的には自分も間接的にでもいいので伝えられるようになりたいと思った。何かを人々に伝えるような仕事に着いたら、ここで学んだこと

を活かして後世に伝えていきたいと思う。

## 6 研修の様子

